

呉市企業の今期の景況は、建設・サービス業で回復見られるも
 製造業の悪化により全体として下降の推移
 - 依然として続く人手不足や先行きの不透明感から今後も慎重な見方伺える -

- ・ 調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・ 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・ 平成28年3月を前年同月と比較
- ・ 平成28年4月～6月の先行き見通しを平成28年3月と比較
- ・ 調査時期 12月中・下旬
- ・ 調査対象 呉市内の業種別主力企業100社 (回答79社、回収率79%)

・ 3月の景況を見ると、下の表の通り、
総合(全業種)DI (良い-悪い) は△6.1 → △12.7 と、全体では前期に比べ、△6.6 と悪化の推移。
業種別では、**製造業**は、約7.8割の企業が横ばいの回答で、DIは2.3 → △17.1 と大幅に悪化した。
非製造業は、約7.1割の企業が横ばいの回答で、DIは△15.4 → △7.9 と上昇した。

【DI方式について】
 DI (ディフュージョン・インデックス) は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわし、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす。

 $DI = (\text{増加・好転等「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化等「悪い」の回答割合})$

・ 4～6月の先行き見通しでは、
総合(全業種)DIは△12.2 → △16.5 と、前回予測から△4.3 と悪化する見通し。
業種別では、**製造業**は、DIは△9.3 → △19.5 と悪化する見通し。
非製造業は、DIは△15.3 → △13.2 と少し改善の見通し。

総合(全業種)では、△6.1 → △12.7 と、呉市の景況は前期に比べ、△6.6 と悪化の推移。来期は△12.2 → △16.5 と、前回予測から少し悪化する見通し。
業種別概況は、製造業は大幅に悪化するも、非製造業は少し改善の推移となった。3月調査による4～6月先行きDI数値は、12月調査による1～3月先行き見通しに比べて製造業は悪化の見通しで推移する予測だが、非製造業は少し改善する見通しとなった。
呉市の景況は、建設・サービス業で一部回復の動き見られるも、全体として今期は悪化の推移。製造業は、原材料価格・原油の下落により収益が改善するも、「価格転嫁ができない」「業界全体として厳しい」など回復の動きまで到っていない。非製造業は、前期に比べ回復の推移ではあるが、「個人消費はまだ改善されていない」「労働力不足」「人件費の高騰」など、消費回復の鈍化や雇用の問題も見受けられた。
平成27年度の設備投資計画の進捗状況については、製造業は「概ね計画通り」「新規設備導入」など、順調に設備投資が進んだ状況が伺える。非製造業は、「大きな設備投資は実施していない」「メンテナンスの設備投資」など設備の改修を中心とした投資を実施した模様。
来期の景況については、「全体として景気は良くない」といった意見が聞かれ、人手不足や先行きの不透明感も要因として、今後も慎重な見方が伺える。

業種別景況DI

	27年 12月実績	28年 3月実績	今期			12月調 1～3月 見通し	3月調 4～6月 見通し	来期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合(全業種)	△6.1	△12.7	6.3	74.7	19.0	△12.2	△16.5	6.3	70.9	22.8
製造業	2.3	△17.1	2.4	78.0	19.5	△9.3	△19.5	2.4	75.6	21.9
非製造業	△15.4	△7.9	10.5	71.1	18.4	△15.3	△13.2	10.5	65.8	23.7
建設業	△11.1	33.3	33.3	66.4	0.0	△22.2	△11.1	11.1	66.7	22.2
卸売業	△14.3	△26.7	0.0	73.3	26.7	△7.1	△20.0	6.7	66.7	26.7
小売業	△20.0	△30.0	0.0	70.0	30.0	△20.0	△20.0	10.0	60.0	30.0
サービス業	△16.7	25.0	25.0	75.0	0.0	△16.7	25.0	25.0	75.0	0.0

呉市の業界DI(H25.3～H27.3)

